

令和 6 年度事業計画(案)

【基本方針】

1. 連盟「を」どうするか内向きの方針：

MVVSに基づく連盟の持続可能性の追求

全日本ホテル連盟の目指すミッションは、「時代のニーズを捉え、革新性をもって、会員ホテルの価値向上を支援すると共に、観光立国の実現と地域の発展に寄与する。」ことである。

このミッションの実現こそが連盟活動の基本であり、ここに書かれている内容を深掘りし吟味し、これまでの活動がこのミッションに沿って行われているかを振り返りつつ、これからの活動がこのミッションに沿ったものであるよう計画していく。

まず、「時代のニーズを捉え」というところで、業界としての動きを大局的に見ると、コロナ禍からの脱却に伴い、インバウンドはじめ旅行需要の復活が顕著である一方で、人手不足が叫ばれる状況となっている。この人手不足の問題は、個々の会員ホテルのみならず、これからも当連盟が持続的に発展していくためには、正会員の増加とともに委員長や支部長を務めてもらえる人づくりが基本となっている。その人づくりは会づくりに直結し、会づくりは連盟が目指す国づくりにつながる。また、このような連盟の活動に積極的に参加するためには、自社の経営が順調であることが前提条件であり、そのためには宿づくりが大切である。

以上の連盟活動の原点に立ち返り、国づくり、会づくり、人づくり、宿づくりの4つを連盟の組織運営の柱として有機的に連携させることにより、連盟組織の価値を高め、会員のためにより存在意義があり、楽しく、ためになり、参加したくなる持続可能な組織づくりを実現していくこととする。

2. 連盟「が」どうするか外向きの方針：

全日本ホテル連盟ならではの存在意義の実現

(1) 宿泊業界に関する旅館業法改正等への対応

コロナ禍で感染しているお客様を断ることができないため、他のお客様や従業員を感染させるかもしれないおそれがあったことに対し、令和5年6月に旅館業法が改正され、半年後の改正法の施行を前に、厚生労働省は、改正旅館業法の円滑な施行に向けた政省令や指針を策定するための検討会を設け、当連盟からもその委員として参加した。この検討会での審議において、カスタマーハラスメントの宿泊客を断れるようになったこと、

障害者に対して事前に対応できるかどうか問い合わせてもらえること、施設に余裕がない場合には引き続き宿泊をお断りできることが確認でき、観光庁によるモデル宿泊約款の改正も行われた。

宿泊施設にとって旅館業法は事業の基本となる法律であり、その円滑な施行を確保する検討会における意見具申は、全国組織の宿泊団体としての大きな役割であり、今後とも会員からの要望を国の関係機関に具申し、意見交換に努めることとする。

(2) 能登半島地震での被災対応と北陸旅行支援への対応

年明けの元日に発生した令和6年能登半島地震については、被災対応のため、連盟事務局では、会員ホテル協力の下、正月返上で二次避難者受入のための施設の手配や募金活動等を行った。また、直接被害のなかった会員のホテルもキャンセルや風評被害等により多大な損失を被ることとなった。

政府は令和6年能登半島地震の影響で、北陸地方全体で旅行のキャンセルおよび風評被害が発生していることから、観光支援策「北陸応援割」を実施することを決定し、当連盟は、本制度においてビジネス旅行が除外されたため、ビジネス旅行も被災地の復興に有効であるため補助対象とするよう要望するとともに、今後の災害時の被災地支援の制度設計においては宿泊事業者の声も取り入れていただきたいと、観光庁や国会議員に要望した。

コロナ禍での「GoToキャンペーン」事業においてビジネス目的の旅行は対象から除外されたが、その後の「全国旅行支援」事業においては当連盟の意見が認められ、ビジネス目的の旅行も対象とされた。ビジネス客を主な客層とする宿泊施設も一様に被害を被っているにもかかわらず、商用旅行が支援事業の対象から除外される傾向があるが、被災地の復興のためには、ビジネス客による消費支出、出張に伴う観光も重要であり、他の宿泊団体では主張しないからこそ、当連盟は先頭に立って要望を続け、連盟の存在意義を実現していくこととしたい。

令和6年度においては、MVVSの理念に基づき、本部と支部の連携により、会員ホテルの成長支援と共に、観光立国の実現と地域の発展を目指して、タウンミーティングの開催や、人手不足への対応と業界の魅力をアピールするためのホテル産業フォーラムの開催を継続するなど、ダイナミックな事業活動を展開することとする。

[事業計画の概要]

[委員会]

【国づくり】担当業務執行理事 林 孝浩（インバウンド委員会、地域活性化委員会）

○インバウンド委員会（委員長 中原 一輝）

1. SDGsの取組事業を通じたインバウンド集客事業 1月

2. 海外プロモーション事業（タイJNTOバンコク主催訪日旅行博 11月8日～10日）
3. AISO・JNTO参加活動事業 JNTO9月フォーラム、AISO 6月総会、10月、1月
4. 委員会開催（年間6回） 4月、7月、10月、12月、2月

○地域活性化委員会（委員長 藤橋 由希子）

1. タウンミーティングの開催サポート
関東支部で11月に開催予定の「タウンミーティングin幸手」のサポート、マニュアル作成を行う。
2. 人材不足についての意識調査
3. 地域ホテル事例視察研修 ナガノアベニューの取組視察
4. 委員会開催（1、3と連携し東京に限らない）

【会づくり】担当業務執行理事 服部 公雄（総務委員会、調査・広報委員会）

○総務委員会（長谷川 智英）

会員ホテルの価値向上の支援、観光立国の実現と地域の発展に繋がるよう、内部統制やコンプライアンスを遵守し、組織的な運営と事業の推進を図り、MVVSの実現に繋げる。

1. 定款の改正に関する事 6月
2. 連盟全般の内部統制、コンプライアンス遵守の推進に関する事（委員会へオブ参加。）
3. 連盟におけるSDGsの促進のための業務に関する事（委員会事業を17の目標に位置付ける） 6月
4. 入会金、会費、賛助会費等の改定に関する事 9月
5. 職員給与規程、旅費規程、職員退職手当支給規程、役員退職慰労金支給規程及び経理規程の改正に関する事 12月
6. 委員会開催 毎月1回

○調査・広報委員会（委員長 江本 清東）

「課題解決型小アンケート調査の実施 年3回程度

ANHAの広報活動・HPの活用

1. 客室利用料調査、客室料金調査の継続実施
 - ①客室利用率調査 毎月、本部にて実施
 - ②客室料金調査 毎年1回会報発行
2. 調査・広報委員会の開催（毎月中旬 全12回）
3. ANHAの広報活動

【人づくり】担当業務執行理事 生内 雄二（会員増強委員会、青年部）

○会員増強委員会（委員長 北原 信輔）

1. 支部報告会参加・メンバー増強
2. 実績共有会 7月、10月
3. 支部合同会員勧誘イベントの実施 ホテル産業フォーラムin ○○
4. 会員交流ツールの運用 Facebookの運用開始

○青年部（部長 樋口 敬祐）

1. 青年部会開催 6月の定時総会と同日開催
2. 役員会の開催 隔月1回 オンラインで実施
3. 勉強会等 オンラインセミナー2回実施
4. 会員間の交流事業 青年部沖縄研修（国際観光施設協会との連携企画）20名
5. 他の委員会及び支部セミナーへの参加など諸活動

【宿づくり】担当業務執行理事 内山 美樹（研修委員会、女性部）

○研修委員会（金子 祐子）

1. 委員会ミーティング（4月、6月、8月）
2. オンラインセミナーの開催（5月、7月、9月、11月）
3. ホテル経営者セミナー打合せ（9月又は10月、12月、1月、2月）
4. ホテル経営者セミナーの開催（令和7年2月）
5. ホテル経営者セミナー振り返りミーティング（令和7年3月）

○女性部（部長 内山 美樹）

1. オンライン・トーク会（12回 4月から毎月1回開催）
 - ・毎月1回、働く女性の生の声を聞き、日々の問題点や悩み等会員で話し合いながら、解決の糸口やモチベーションアップにつなげる。
2. 発表会の開催
 - トーク会で得たりリアルな声をANHA会員の経営者や男性スタッフに発表する場を設ける。
 - ・宿泊業界が女性にとって働きやすい職場になるべく、働き方の構築を提案する。
 - ・女性の特性を活かせる業界であることを実証できるよう、可能性を見出し、活躍できる人材を育てる。

[支部]

○北海道支部（支部長 不川 正三）

- (1) 支部報告会の開催 4月
- (2) 支部例会の開催 10月又は12月
- (3) 本部経営者セミナー参加者補助
- (4) 優良従業員表彰への推薦
- (5) 北海道庁観光局との意見交換

○東北支部（支部長 星野 孝人）

- (1) 支部業報告会の開催 5月10日
- (2) 本部総会出席 6月13日
- (3) タウンミーティング（幸手）参加 11月
- (4) 支部役員会 11月
- (5) 本部経営者セミナー参加 2月

○関東支部（支部長 服部 公雄）

- (1) 理事会の開催 4月、7月、9月、11月、1月、3月
- (2) 事業報告会 4月22日
- (3) 研修部会 7月、9月、11月
- (4) 賀詞交換会 1月

○甲信越支部（支部長 内ヶ嶋 雅功）

- (1) 支部報告会 5月
- (2) 本部総会出席 6月13日
- (3) 支部研修会 12月
- (4) 支部役員会
- (5) 本部主催事業への参加支援
- (6) 北陸信越運輸局会議出席

○中部支部（支部長 藤橋 由希子）

- (1) 支部報告会 4月9日
- (2) 優良従業員表彰の推薦 5月
- (3) 本部総会出席 6月13日
- (4) 役員会 4月、11月
- (5) タウンミーティングin幸手 参加 11月

- | | |
|------------------------|----|
| (6) 本部経営者セミナー出席 | 2月 |
| (7) 中部運輸局、北陸信越運輸局等との協力 | 通年 |

○近畿支部（支部長 北原 信輔）

- | | |
|---|--------|
| (1) 支部事業報告会及び意見交換会 | 4月25日 |
| (2) 支部役員会 | 適時 |
| (3) 支部勉強会及び意見交換会 | 11月頃 |
| (4) 外部連携事業（及び他団体との意見交換会や連携事業） | |
| 大阪観光局/関西観光本部 | 適時 |
| 国土交通省近畿運輸局 | 8月 |
| サステナブルツーリズム推進委員会 | 10月 |
| 産学官連携事業（2大学と人材育成事業） | 12月発表会 |
| (5) 会員支援事業 | 適時 |
| (6) 会員交流及び入会勧誘事業（広告宣伝を含む）SNS、Facebook運用 | |

○中国四国支部（支部長 沖 一泰）

- | | |
|-----------------|-------|
| (1) 支部報告会 | 4月 |
| (2) 本部総会出席 | 6月13日 |
| (3) 支部交流会 | |
| (4) 本部経営者セミナー参加 | 2月 |

○九州支部（支部長 相部 光伸）

- | | |
|-------------------------------|----------|
| (1) 支部理事会 | 4月、2月 |
| (2) 支部決算報告会 | 4月 |
| (3) 九州運輸局 観光ビジョン推進、九州ブロック戦略会議 | 5月、8月、3月 |
| (4) 本部総会出席 | 6月13日 |
| (5) 正会員入会活動 | 10月 |

令和6年度ANHA各委員会 委員長及び担当委員一覧表

		役職	氏名	ホテル名
国づくり	インバウンド委員会	担当業務執行理事	林 孝浩	紋別プリンスホテル
		委員長	中原 一輝	SK HOTEL 神戸駅前
		副委員長	藤橋由希子	金沢の宿由屋るる犀々
		委員	林 佑太	ふく井ホテル
	地域活性化委員会	パートナー	岸田 武雄	フィールジャパンwith K
		委員長	藤橋由希子	金沢の宿由屋るる犀々
		副委員長	篠崎 友宏	ホテルナガノアベニュー
	委員	林 孝秀	紋別プリンスホテル	
会づくり	総務委員会	担当業務執行理事	服部 公雄	お茶の水イン
		委員長	長谷川智英	SKハウジング株式会社
		副委員長	樋口 敬祐	銀座国際ホテル
	調査・広報委員会	委員長	江本 清東	チサングランド長野
		副委員長	小林 篤史	ニューステーションホテル
		委員	曾根 隆夫	ニイガタステーションホテル
		委員	山崎 敬一	ホテルハイマート
委員	神津 亜紀	ホテルナガノアベニュー		
人づくり	会員増強委員会	担当業務執行理事	生内 雄二	二戸シティホテル
		委員長	北原 信輔	更紗ホテルズ
		副委員長	瀬尾 吉郎	株式会社ベッセルホテル開発
		委員	下嶋 一義	株式会社ミナシア
		委員	星野 孝人	中町フジグランドホテル
		委員	成田 雅範	株式会社三交イン
		委員	原 圭祐	株式会社三交イン
		委員	橋上 太一	湘南レーベル株式会社
		委員	萩原 直也	かごしま第一ホテル
		委員	山口 凌	H.B.P HOTEL
	青年部	委員長	宮崎 晴美	祇園クリスタルホテル
		部長	樋口 敬祐	銀座国際ホテル
		副部长	塚本 忍	アーバンホテル〈つくば〉
		委員	清水 久能	ホテルリバージュアケボノ
		委員	草野小百合	北上物産株式会社（くさのホテルグループ）
		委員	古田 篤史	株式会社三交イン
		委員	林 孝秀	紋別プリンスホテル
		監事	山南 英喜	つくばホテルズグループ
		事務局長	青山 大介	㈱コネクター・ジャパン
		宿づくり	研修委員会	担当業務執行理事
委員長	金子 祐子			ホテルグリーンコア
副委員長	内川 英敏			所沢パークホテル
委員	山南 英喜			つくばホテルズグループ
委員	塚本 忍			アーバンホテル〈つくば〉
女性部	パートナー		近藤 寛和	宿屋大学
	部長		内山 美樹	ホテル明治屋
	副部长		広沢 香織	ホテルシーズン
	委員		金子 祐子	ホテルグリーンコア
	委員		藤橋由希子	金沢の宿由屋るる犀々
パートナー	金宗 有美	ダルフィンインターナショナル		